# News Release

各 位

株式会社プラッツ

2016 年 5 月 6 日

（お問合せ先）℡092-584-3434

## 「認知症老人徘徊感知機器/離床センサー」の販売を開始

株式会社プラッツ（代表取締役社長：福山　明利）は、株式会社バイオシルバー（代表取締役：原田　敬三）と、同社の高いセンサー技術を活用した離床センサー「PW02 シリーズ」（以下、本製品）について取引契約を締結し、2016 年 6 月下旬に販売を開始する予定です。

「認知症老人徘徊感知機器/離床センサー」は、主に在宅で介護を受けている、または介護施設に入居されているご高齢者（以下、ご利用者）がベッドから離床した際にその動きを感知し、アラームで介護者に報せることで、ご利用者の転倒、転落及び徘徊などを予防する機器となります。

〔主な特長〕

（1）誤報が少ない

従来の「認知症老人徘徊感知機器/離床センサー」はご利用者の体の動き（体重移動）のみを感知するタイプが主流でしたが、本製品は体の動きの感知に加え、ご利用者の心拍や呼吸等の生体信号で離床を感知するタイプとなります。このため従来品と比べてアラームの誤報が少なく、また、オプションの人感センサーの併用により確実な徘徊への対応が行えます。

（2）高い耐久性

従来の「認知症老人徘徊感知機器/離床センサー」のセンサーマットの内部では主に電線や基板が使用されておりますが、本製品のセンサーマットの内部は空気とウレタンで構成されており、水・折り曲げに強い構造となります。このため従来品と比べて耐久性が高く、安全で故障が少ない製品となります。

（3）当社ベッドから電力供給が可能（DCタイプの場合）

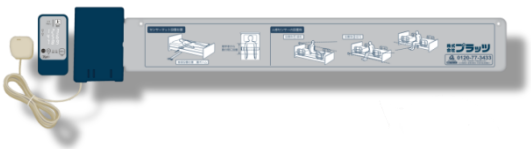
電源は当社ベッドの電力を使用するため、電池や別のコンセントは必要ありません。

（4）呼出しボタン機能（オプション機能）

オプション機能として呼出ボタン機能を付加できます。

（製品イメージ）

・センサーマット



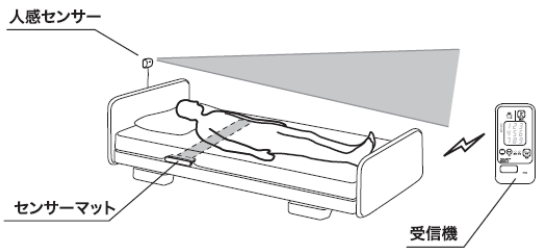
・人感センサー



・受信機



（離床センサーの仕組み）




以上